

学科 学年	1 年全	科目 分類	現代国語 07 Modern Japanese	講義 必修	通年 2 履修 単位	学習教育 目標 1 A~E	担当	坂本 信男 Sakamoto nobuo
概要	近現代の文章（論説・文芸作品・韻文、その他）を読み、未知の世界に触れるとともに、日本近代文化の成り立ちや、様々な表現・表記の基礎知識を学ぶ。言葉の仕組み・表記などについて自立的に探る方法を指導し、且つ基本的な情報作成（作文、その他のプレゼンテーション等）の方法・態度を学ぶ。							
科目目標 (到達目標)	言葉や表現の確実な理解から、背景にある思想・時代思潮・心情等の由来について、広く思考し・推測する態度を養う。多くのテキストに触れて、種々の発想・表現語彙・語法の習得機会を提供し、実践的に考え、発想し、情報作成する能力を養う。現在の自分を成り立たせている、感情・思考・言語について、その大本を見直す機会を作る。							
教科書 器材等	プリントテキスト配布。(学生の学力状況等に柔軟に対応し、より適正なテキストに差し換えることを含め、十全な指導を図る予定。)							
評価の基準と 方法	試験(8.5割) 定期、+小試験・作文・レポート。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回		日本語を学ぶとは						
第 2回		「言葉・表記・論理・文章」 その仕組みと、如何に学ぶかについて						
第 3回		「四拾七字」とは・・・日本語・音と文字と意味について						
第 4回								
第 5回		「かなづかひ」の本質						
第 6回		井伏鱒二 「屋根の上のサワン」 青年の心・三部作						
第 7回								
第 8回								
第 9回								
第10回		「厄除け詩集」 (漢詩入門)						
第11回								
第12回		・・・作者と社会(解説)						
第13回		作文・レポートの基本 (指導・解説)						
第14回		「実用国語」演習(補助教材の学び方) (この後逐次)						
第15回		宮澤賢治 初期「寓話」から						
第16回								
第17回								
第18回		志賀直哉 「赤西蠣太」						
第19回								
第20回								
第21回								
第22回		・・・作品背景						
第23回		志賀直哉 「小品五つ」						
第24回								
第25回		芥川龍之介「羅生門」						
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回		日本の近代 作者と時代、周辺の人々 「今昔物語集」について(解説)						
オフィスアワー	木曜除く全週日。							
アンケート対応	前年迄の諸問題を、可及的にimproveする。(板書の削減整理等)							
備考								
更新履歴								

